

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	らいふすくーる桐ヶ丘			
○保護者評価実施期間	2025年10月1日		～	2025年10月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数)	7名
○従業者評価実施期間	2025年10月1日		～	2025年10月5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月1日			

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちは通所を楽しみにしてくれており、保護者の方々も我々の支援に満足してくれていること。	子どもたちがまずは「楽しい」と感じれるように、活動内容や環境に配慮しています。	療育と遊びの提供の幅をより広げられるよう、今後も研修に参加したり職員間で話し合ったりして、より研鑽していきます。
2	子どもたちや保護者の方々との意思の疎通が図れ、情報もきちんと伝えられていること。	送迎時の保護者の方との会話を大切に、そこで伝えきれなかったことはHUGを通して、できるだけ詳細に伝えるようにしています。	引き続きコミュニケーションを密に取り、関係する皆さんにより信頼していただけるよう努力していきます。
3	生活空間が子どもたちの活動に合わせた空間となっており、清潔感も感じていること。	身体を動かしたい子や着座で集中したい子など、それぞれの「やりたい」を叶えられる空間になるよう配慮しています。	道具(玩具)を増やすなどして、子どもたちが今まで以上に様々な経験が積めるよう、より環境を整えていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所のマニュアル等において、保護者の認識が薄いこと	入所時にマニュアルがあることを説明しているが、その後触れる機会がない	保護者の手の届くところにマニュアルを置き、送迎時等に閲覧等ができるようにする
2	保育所との交流する機会があまり周知されていない	交流を図るのが放デイが中心になっているため、児発には周知されにくい	1回2時間の利用の中で、保育園の園児を含む他の子どもと活動をする機会の必要の有無を今後検討していく
3			